（その２）

領収書等を徴し難かった支出の明細書（１万円以下）

議員氏名

支出の目的		金　額			年　月　日	領収書等を徴し難かった事情
項　目	摘　要	百万	千	円		

（備考）

１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

２　「支出の目的」欄には、別記第一号様式記載要領２の例により分類して記載すること。

３　人件費については、「摘要」欄には、例えば、「給料」、「報酬」、「諸手当」、「各種保険料」というように記載し、支出先が複数ある場合を含め、複数の支出を一括してその合計額を記載してもよい。

４　滞在雑費については、「支出の目的」欄・「領収書等を徴し難かった事情」欄にその旨を記入し、金額欄に一定額（複数日にまたがる場合には、一定額に日数を乗じた額）を記入してもよい。この場合には、様式（その２）に記載すること。

５　この文書の正確かつ適切な作成及びその提出等に係る事務の円滑化に資すると認められる場合に限り、各議院の事務総長は、この様式に準拠した適宜の様式を定めても差し支えない。